

# 会報 No.317



# キャリア・コンサルタント

2021年（令和3年）7月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3  
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544  
：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail : [会報編集部] henshu@ccc.jp

[事務局] jimukyoku@ccc.jp

[営業本部] eigyo@ccc.jp

URL : <http://www.occ.or.jp>

<http://www.ccc.jp>

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

1. 2020年代、それは日本経済が崩壊する10年間。

ことばワークス 代表 金子 元一

2. DRASTIC

副理事長 大野 長壽

3. 専門家にもの申す

組合員 中野 忠

4. 令和3年6月末をもってCCKを卒業しました

石川三千雄

5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

一粒万倍

付録 2021年度（令和3年）重要会議予定表  
2021年度（令和3年）役員役割分担表  
2021年度（令和3年）主要会議等のメンバー

# 1. 2020年代、それは日本経済が崩壊する10年間。 今後予測される未来にどう備えるのか？

ことばワークス 代表 金子 元一

コロナ禍の収束がまだ充分見通せない中、多くの経済学者が日本経済の未来を予測しようとしています。当然ながら、その目的はいたずらに恐怖をあおることではありません。未来を知り、変化に備えてもらうための指針です。今後間違いなく訪れる危機に備えることで、必ず未来は変えられます。

## 今後予見される7つのショックとは？

### ① アフターコロナショック

1年以上続いてきたコロナ禍はまもなく終息すると、多くの経済学者は予測しています。

理由は二つあります。一つはもうすぐ夏がやってくること。夏になるとコロナの猛威は昨年同様衰えてきます。もう一つは新しくワクチンの効果です。

ところがここで気を付けなければいけないのは、アフターコロナショックがやってくるということです。それはコロナ禍で、世界から大きく遅れていた日本のDX（デジタルトランスフォーメーション）が一気に加速させられたという皮肉な事実です。例えば1年前までほとんど知名度の無かったZOOMですが、今や多くの企業がZOOMで日常的にWEB会議を行っています。これはまさに劇的な変化と言えるでしょう。これらの変化により、企業の出張経費や人件費が大きく削減されていることも確かです。しかし、経済全体で見るとこれらの変化は必ずしも良いことばかりではありません。今まで仕事があった人の仕事が、突然消滅するという一面も注意深く見守る必要があります。今回のコロナ禍が、日本経済におけるDX革命のトリガーを引いてしまったという事実を、私たちは正しく受け止める必要があるのです。

これらの動きは、日本企業に大きな変革やショックが起きつつある、という前兆に他なりません。アフターコロナショックだけでも大きな話だと思えるかもしれませんが、実はここから本格的な経済の脅威が始まります

### ② トヨタショック

二つ目は、日本の基幹産業である自動車産業の危機です。温室効果ガス削減を目的に、2030年代にはガソリンを使った自動車が日本から消滅しよ

うとしています。EV 技術を持った世界中の新興メーカーに対抗し、ハイブリッドと水素を基本戦略に掲げるトヨタが、今後どうか戦っていくのかが問われる未来がやってくるという事です。更には、AI の進化により、自動運転技術も加速度的に進化しています。これはつまり、エンジンをコア技術として発展してきた、従来の歴史ある自動車メーカーが、今後かなり苦戦する社会の到来を示唆しています。これは正にモビリティというビジネスモデル自体の変革であり、将来をどう読むかによって、未来の勝ち組が変わってくる、正にギャンブルの様な将来構想でもあります。

### ③ M&A ショック

例え大企業であろうと、急速に衰退し消えていくといった現象が特にアメリカ経済の中で大きな問題になっています。2017 年アメリカで起きたトイザラスの経営破綻は、Amazon Effect を象徴する出来事でした。

今アメリカに徐々に増えつつある Amazon Go という無人スーパーは、顧客が QR コードでチェックインしてお店に入り、製品を自分の鞆に入れて店を出れば会計が終わるといふ、全く新しいタイプのコンビニです。例えば、この Amazon Go の日本進出こそは、セブンイレブンが首位転落してしまうという可能性を示唆するものであり、便利さやコスト構造の低さを武器に、巨大 M & A が日本でも起きるといふリスクを考慮する必要があるといふ事実です。

### ④ 気候変動ショック

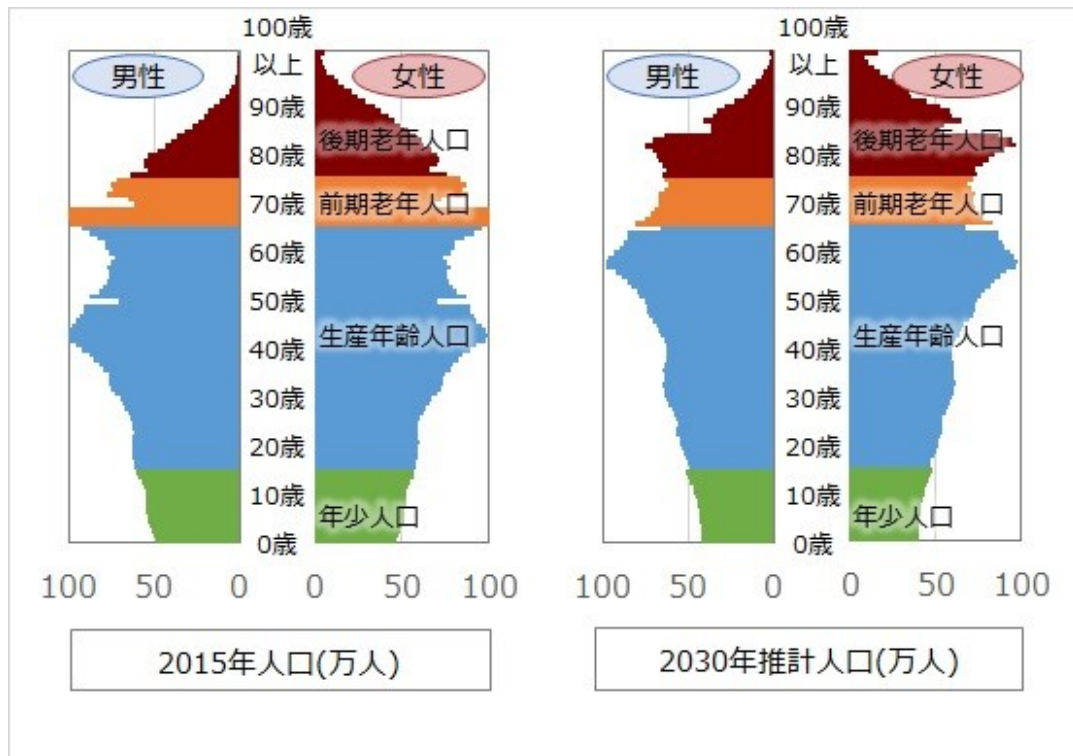
4 番目は気候変動ショックです。既に私たちは 2010 年代からも大規模災害を実体験しています。しかも気候変動は 2020 年代にはさらに加速していくと言われていています。

最終的に気候変動ショックは経済ショックに変わっていきます。具体的には不動産価値の下落です。例えば今東京は非常に住みやすい場所であると多くの都民が感じていますが、今後の気候変動によって東京自体の価値が大きく変わるかもしれません。例えば昨今の東京の猛暑は尋常ではなく、一方で仙台ないしは富良野といった日本の北側は、今後不動産価値が上がっていくかもしれません。不動産は長期の投資を前提としたものですから、多くの国民にとって直接的なリスクとなる可能性が高いということです。

### ⑤ 人口変動ショック

5 番目は日本の人口ピラミッドの崩壊です。この先 2030 年問題と言われる超高齢化社会では日本の人口構造に大きな変化が起こります。現状と同

等の産業を維持するには、850万人の労働人口が足りなくなる未来がやってきます。現在最も有力な未来予測として挙げられているのが、日本が移民大国になることです。現実に関、日本への入国ビザは条件が緩和され外国人労働者が日本の労働力の中核となる事態が起こっています。経済的には良い側面がある一方で、今後の日本文化に大きな変化をもたらします。人口ピラミッドの崩壊をどう乗り越えていくのかは、これからの10年の大きな課題になると思われます。



## ⑥ 政治崩壊ショック

6番目は政治の崩壊です。これは既に日本でも現在進行形で起きている問題ですので多くの方が実感されていると思います。しかしながら、政治の劣化問題は日本だけではありません。アメリカでは国会議事堂に人々が乱入する大事件が発生。アジアでも軍事政権の暴走や、国家によるジェノサイドなど、枚挙にいとまがありません。政治の崩壊は世界中で起きているのです。特に民主国家における、ポピュリズムの台頭も大きな要因の一つです。政権としては、大衆に迎合した方が選挙で票が取れますし、その結果として正しい政策が大きく歪められてしまいます。つまり、本来あるべき方向には向かわない、間違った未来が目前に迫っているのです。今後、2020年代の政治の崩壊にどう向き合うのかが非常に大きな課題となってくるでしょう。

## ⑦ デジタルチャイナショック

7番目のショックは、デジタルチャイナショックです。今後私たちは何をやっても中国に勝てなくなるかもしれません。それほど中国の電子化は急速に進んでいます。残念ながら多くの民主国家では様々な規制やルール、道德観念に縛られ、ゆっくりとした進歩しか望めませんが、一党独裁の中国では技術の進歩も、すべてに優先させることも可能なのです。既に中国の新幹線網は日本の新幹線の10倍の営業距離を達成していますし、空飛ぶタクシーすら商用化されようとしています。果たして日本は、急速な中国の技術発展を今後もキャッチアップしていくことができるのでしょうか？ここまで7つのショックを解説してきましたが、未来がとても嫌なものに見えてくるかもしれませんが、ここで立ち止まってははいけません。

### 7つの危機は、同時に7つのチャンスでもある。

未来予測とは、迫りくる大きな変化にどう備え、どう対策するのか、その準備をするためにこそ存在します。日本経済がこれから直面する7つの大きなリスク。これはつまり、目の前にある7つのチャレンジであり、それらをどうブレイクスルーしていくのか早急に準備する必要があります。もちろんトヨタが大きなチャレンジを受けて没落していくような未来があるかもしれません。しかしながら別の会社がトヨタに変わって新しいモビリティ社会を日本に作ってくれる可能性もあります。その意味で、様々なゲームチェンジがあちこちで起こることで、日本経済自体はより良い未来を迎えることができる可能性もあるわけです。

### 未来を変えるためのアクションを起こそう

未来を読むことの重要なポイントは、それを知ることによって未来をどう変えていけばいいのかを、私たち日本人が真剣に考え、実際にアクションを起こすことです。

念のため釈明しておきますが、この文章は、将来の日本に対する悲観論ではありません。将来を正しく見通すことで、日本を良い方向へと「Scrap&Build」するための一つの指針に過ぎません。

前述の7つのショックをきっかけに、高い志を持ち、現状を変えたいと思っている多くの日本人が、未来を変えるためのアクションに真剣に取り組んでいただければ幸いです。

## 2. DRASTIC

副理事長 大野 長壽

ソーシャルメディア(Social media)を利用した分散型の先鋭匿名調査チームにより Covid(新型コロナウイルス)の「武漢ウイルス研究所流出説」が急に見直されていると PRESIDENT Online が報じていたので深堀りしました。中国の説明がおかしいと感じた世界各地のアマチュアネットユーザーがチームを組んで新事実を科学界と大メディアに突きつけ、そのネットワークチームを自分たちで、**DRASTIC** と名乗り、そして、**DRASTIC** の功績を認めたハーバードやイエール、MIT (マサチューセッツ工科大学)、スタンフォード大学など米国を代表する大学・研究所に所属する 17 人の科学者が 5 月 17 日、サイエンス誌に公開書簡を発表し、武漢ウイルス研究所の徹底調査を呼びかけた。そして、この公開書簡の発表を受けて 5 月 26 日、ジョー・バイデン大統領は、新型ウイルスの発生源に関し追加調査を指示したとあります。当初は、中国の武漢ウイルス研究所でここからその感染症が発症したんだ、海鮮市場なんかじゃない研究所から発症したんだってという話が出てきか、これはデマだということにされてきた。

しかしここに来て、例えばバイデン大統領があるいはイギリス政府は情報機関に対してこれを、再調整するきちんと検証しろという指示を出した、欧米のメディアも、海鮮市場じゃないぞと間違いなく武漢ウイルス研究所から漏れ出て来たものだという判断に今傾きつつあります。様々な証拠を出しているのは特別な人に基づいて特別な狙いでやっているのではなく、CIA が出したものではないし、MI 6 が出したものでもない、非常に客観的な形でデータが出てきているわけです。調査したチームはあまり日本では触れていないですが、**DRASTIC** (Decentralized Radical Autonomous Search Team Investing COVID-19:新型コロナウイルス感染症に関する分散型の先鋭匿名調査チーム) 頭文字を取って **DRASTIC** になっています。新型コロナウイルス感染症に関する分散型の匿名調査チームで、専門家ではないけれどもインターネットに関する専門家です、欧米の 20 数人いるだろう特命チームで、個々人の名前は不明ですが、ずっと検証していた。やっぱり武漢ウイルス研究所からこれが出てきたものと言う問題意識、そこから調査が始まって情報交換なんか **Twitter** 上、**Facebook** 上でやってそれがネットワークのように繋がって、ウイルスあるいは感染症の専門家が入ってきて、その指摘はあるいはその仮説は間違いだという議論を深めていく中で真実が見えてきた。



それで1番のきっかけは、2012年に雲南省の銅鉱山でコウモリの洞窟があり、そこを採掘のため作業員6人が入って清掃しました。SARS（重症急性呼吸器症候群）のような症状を起こして3人の鉱山労働者が死亡し、新型コロナと最も近縁なウイルスもそこに含まれるとみられている。何故か、そのうちに**武漢のウイルス研究所**ではその原因をカビだとか、心筋梗塞だというふうに断定していましたが、このDRASTIC調査チームはこれこそが今世界でパンデミックを起こしている、そのもの、コロナウイルスじゃないかと言う仮説を立て色々始まって行きました。2012年の翌年2013年に昆明医科大学の大学院生LiXu氏が修士論文で銅鉱山で発祥した、あの病気というのは実は、6人の経歴の詳細は論文で姓、年齢、診断書の内容などが明らかになったキクガシラコウモリから「SARS（重症急性呼吸器症候群）に似た」コロナウイルスに感染したと結論付けている。中国ではこういった論文が集積されていて、公開情報で、そういう論文を見るということは誰でもできるという状況になっています。

「注）中国の学術誌や論文を網羅した巨大なデータベース、CNKI（中国学術文献オンラインサービス）ここにある膨大な学術文献の中に、鉱山労働者の死に関連した情報も埋もれていた。」あの調査を進めていくと2017年から2018年にかけて武漢ウイルス研究所のスタッフが実はこのウイルスを研究しているというデータが出てきました。武漢の研究所が長年、コウモリのいる洞窟で何種類ものコロナウイルスを収集してきたこと。その多くは2012年にSARS（重症急性呼吸器症候群）のような症状を起こして3人の鉱山労働者が死亡した銅鉱山で見つかったもので、新型コロナと最も近縁なウイルスもそこに含まれるとみられている。また、武漢の研究所はこれらのウイルスを使ってさまざまな実験を行っていたが、安全管理はお粗末で、曝露や流出の危険性があったことも明らかになった。研究所も中国政府もこうした活動を外部に知られないよう、ひた隠しにしていたのだ。

「流出説」を揉み消した大物の正体は……パンデミックが始まった当初、新型コロナ関連のニュースを追っていた人たちの例に漏れず、DRASTICの一人「Seeker(探索者)」も武漢の海鮮市場で野生動物からヒトに感染が広がったと信じていた。3月27日付のツイートで、彼は「珍しい動物の取引で生まれたおかしなウイルスで、親や祖父母が死ぬなんて、ひどい話だ」と嘆いた。彼がそう信じたのは、主要メディアがそう報じたからで、そう主張した科学者の筆頭格が**Peter・Daszak**である。彼はパンデミックを起こす可能性がある自然界の病原体について大規模な国際調査を行う非営利の研究機関、**EcoHealth Alliance**の代表だ。「注）Peter・Daszakが代表の**EcoHealth Alliance**は、新興感染症から人、動物、環境を保護するという使命を掲げた、米国を拠点とする非政府

組織です。非営利団体は、パンデミックを防ぎ、世界中のホットスポット地域での保護を促進することを目的とした研究に焦点を当てています」。

そして今年2月、武漢で新型コロナの起源調査を行うことが許可された、世界保健機関（WHO）調査団の唯一のアメリカ人メンバーでもあった、調査団メンバーとして武漢ウイルス研究所を査察した。彼は、ニューヨークタイムズから彼らの発見についてインタビューを受けました。彼らは、源泉と見なされており、まだ病気の研究者以外のすべての人に封鎖されている華南シーフードマーケットを歩き回った。**Peter・Daszak**によれば、中国人は「このウイルスが再び定着することを絶対に恐れている」と言てる。彼らは、WHOグループと緊密に協力しているにもかかわらず、テスト、隔離、検疫の厳しいプロトコルに従っていた。

**Peter・Daszak** は、武漢ウイルス研究所に所属するコウモリのウイルス研究の第一人者、**石正麗**（セキセイレーン Shi. Zhengli）と長年共同研究を行ってきた。

「注）石正麗は1987年に武漢大学を卒業遺伝学の学士号を取得、ウイルス学の武漢研究所の中国科学院1990年（CAS）修士号、モンペリエ2大学（南仏）で博士号。James T. Areddy（ウォールストリートジャーナルの中国に焦点を当てた特派員）は2020年4月21日号で「中国のコウモリの専門家は、彼女の武漢研究所は新しいコロナウイルスの源ではなかったと言てる」。

石正麗は科学誌「サイエンティフィック・アメリカン」に掲載されたプロフィールの中で、複数の鉱山労働者が死亡した墨江八二族自治県の鉱山について調査を行ったことを認めている。だが彼女はこの銅鉱山の一件と**RaTG13**を関連づけることは避けており（論文の中でも触れていない）、作業員たちは洞窟の中の「真菌（カビ）」が原因で死亡したと主張した。**RaTG13**の遺伝子配列が、石正麗が何年も前に発表した論文に記されていた遺伝子コードの一部と完璧に一致した、というのもその一つだ。この遺伝子コードは、武漢ウイルス研究所が雲南省のコウモリから発見したウイルスのものであった。

「注）コウモリコロナウイルス **RaTG13** は新型コロナと遺伝情報が96%一致する」**Peter・Daszak** と石正麗は10数本近い論文を共同執筆し、分かっているだけでアメリカ政府の助成金が60万ドルですが渡っている。アメリカの情報公開法など、ほかの科学者との公開書簡を作るに当たってのメールのやりとり等々からバレできた、調査と証拠の積み上げによって、**Peter・Daszak** が嘘をついていたということはもうアメリカヨーロッパでは確定的な話になってきている。

「研究所流出説」を甦らせた素人ネット調査団、新型コロナの始祖ウイルスを「発見」まず、武漢の研究所が長年、コウモリがいる洞窟で何種類ものコロナウイルスを収集してきたこと。その多くは2012年にSARS（重症急性呼吸器症候



群) のような症状を起こして 3 人の鉱山労働者が死亡した銅鉱山で見つかったもので、新型コロナと最も近縁な

ウイルスもそこに含まれるとみられている。また、武漢の研究所はこれらのウイルスを使ってさまざまな実験を行っていたが、安全管理はお粗末で、曝露や流出の危険性があったことも明らかになった。研究所も中国政府もこうした活動を外部に知られないよう、ひた隠しにしていたのだ。

さらに、新型コロナの発生源とされた武漢の華南海鮮市場で最初の集団感染が起きるよりも何週間も前に、既に感染者が発生していたことも分かった。これらのいずれも、研究所流出説を裏付ける決定的な証拠とは言えない。研究所が発生源ではない可能性も十分にある。しかし DRASTIC が集めた証拠は、「相当な理由」にはなる。つまり、研究所から出た可能性を疑い、本格的な捜査を行うに足る理由がある、ということだ。

何故 Peter・Daszak が関わったかは、その背景には 2014 年 10 月、米国で物議を醸した機能獲得型 (Gain of Function Research) のウイルス研究が禁止されることにある。「注：NIH は 2017 年 12 月 19 日、3 年以上に亘る一時的禁止措置を解除することと、これらの研究を審査すると発表」。ウイルスの挙動やワクチン耐性のメカニズムを理解するために病原体の遺伝子进行操作して機能を付加し、感染力がどう高まるかなどを研究する。これには病原体が流出したりパンデミック (世界的流行) を引き起こしたりするバイオテロリスクが高いためである。米国で物議を醸した機能獲得型のウイルス研究が禁止されると、政府や民間企業のトップ科学者たちは、インフルエンザウイルスや SARS や MERS などのコロナウイルスのウイルス操作やワクチン開発に関する 21 のプロジェクトを直ちに中止しなければならず、ハーバード大学、エモリー大学、ノースカロライナ大学チャペルヒル校では、物議を醸したプロジェクトが中断されました。当時、科学者たちは、製薬業界や世界の健康市場で利益を生む新しいワクチンを開発するために、呼吸器系ウイルスの遺伝子組換えをしていたのです。米国国立衛生研究所 (NIH) 所長の Francis. Collins 博士と、国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) 所長の Anthony. Fauci 博士は、倫理や法律に従わず、問題のある得型コロナウイルスの研究を進めました。

Anthony. Fauci は、米国内で研究を行う代わりに、友人 Peter. Daszak を起用しました。Peter. Daszak は、その 10 年前に重症急性呼吸器症候群 (SARS) の原因がコウモリにあることを最初に発見した有名な動物学者です。彼は中国の武漢ウイルス研究所と繋がりがあり、この非倫理的な研究を海外で続けることに固執していました。Anthony. Fauci は、その後 EcoHealth Alliance を通じて研究を完成させるために 740 万ドルの助成金を承諾しました。2016 年に Anthony. Fauci から政府資金を受け取った後、Peter. Daszak は、EcoHealth

Alliance が主催するイベントで、自己顕示欲の強い Anthony. Fauci を宣伝しました。2人は、今日まで長年の関係を享受しています。Anthony. Fauci は Peter. Daszak と協力して、武漢ウイルス研究所の 石正麗に、洞窟内のコウモリの糞のサンプルをいくつか集めるように命じました。石正麗は、コウモリのサンプルを採取し、Anthony. Fauci に報告しました。中国のウイルス学者たちは、コウモリから採取したコロナウイルスの遺伝子情報を分析して配列を決定し、ヒトの細胞に容易に感染する遺伝子操作されたウイルス(chimera・キメラ「同一の個体内に異なる遺伝情報を持つ細胞が混じっている状態や、そのような状態の個体のこと」を作るように言われました。武漢の研究所の責任者である石正麗、お金をもらい続けるために、コロナウイルスの研究の進捗状況を Anthony. Fauci に報告していました。アメリカやその他の国々が精力的に調査を進めても、研究所流出説を裏付ける明白な証拠が得られるという保証はない。中国の全面的な協力なしには、徹底した調査はできないが、中国の協力は得られそうにない。それでも、この雑多な背景を持つ少数のアマチュアたちがやってのけた草の根の調査報道は、21世紀の最大のスクープとなる可能性がある。

参考 : [drasticresearch.org/the-team/](http://drasticresearch.org/the-team/)、[theweek.in/naturemedicine](http://theweek.in/naturemedicine)、[researchgate.net](http://researchgate.net)、Wikipedia、google

以上

### 3. 専門家にもの申す

組合員 中野 忠

#### 最大の戦犯者は専門家だ

先月号に続いて感染症対策について感じたことを述べてみたいと思います。

新型コロナウイルスの感染者の数が減らない。周りを見ると皆マスクをつけて感染症対策をしているように見えるが、一向に減らないばかりか東京ではこの所微妙に増えている。はっきり言って、この原因は感染症対策の専門家が何もしていないことではないのか。毎日テレビでコメントしている専門家は、ただ感想を言っているだけで、何の対策を講じていないではないか。

このところ増え始めた感染者の状況に対して、第4波、第5波の恐れありと言っているが、ただ数字を見てこういう感想を述べるのは、素人でも感じていることではないだろうか。

私が思うに、専門家の役目はいかに感染防止をすることであってただ感想を述べることではないのではないか。そもそも感染が起きるしくみは何か。毎日起きている感染者の半数は感染経路がわからないそうだが、この人たちを含め、感染のしくみをしっかり把握して対策を講じるべきではないのか。以前、都営地下鉄の職員が集団感染した際、その可能性として、共同施設の洗面所での感染の可能性をあげていた。感染の要因として人と人との接触が最も大きな要因となっているが、その他として、公共施設等の物に触れてその手で口元に触れたりして感染するケースも可能性としてはある。電車の中では素手でつり革や手すりにつかまっている人が結構いる。原因がわからない人でこういう人が結構いるのではないか。都心での人手が増えていることに危惧しているが、街中に歩いているだけで感染するのであろうか。専門家ならこういう状況下でのしくみをはっきり追求してほしい。都心での感染者拡大に対して爆発的に感染者が増えた大阪では最近感染者が減少している。この要因を専門家は究明できないのだろうか。さらに言えばヨーロッパやアメリカは日本に比べるとはるかに多くの感染者がでてきているが、この要因も考えるべきではないのか。我々素人ではできないことを何故専門家はやらなかったのか。専門家こそ最大の戦犯者だと思うのです。

### お酒が原因ではない

前回は述べましたが、お酒が悪者にされている。昨年はじめ、感染の要因として歌舞伎町での感染が発生してから、酒対策が言われてきました。そもそも酒で感染するしくみはなんなのか。そのことを追求しないで、ただ酒が悪いということは全くのお門違いではないのか。以前日経の意見広告で、旭酒造(株)の桜井社長が述べていますが、兵庫県での感染割合で大きいのは、家庭内感染 52.1%、職場感染 16.2%、福祉施設感染 7.5%なのに対して飲食店での感染はわずか 2.9%程度だそうです。先ごろイギリスでのウィンブルドンテニスでは、有観客で実施。感染対策徹底した上で、酒の販売はOKとのこと。イギリスではワクチン接種が進んでいながら1日の感染者が1万人にもなっているそうですが、酒に対する制限はあまりされていないようです。アメリカでもしかりです。そう考えると専門家は酒のことを本当に理解していないのか、酒が飲めない人なのかと考えざるを得ません。少なくとも飲酒制限が出てから多くの飲食店は感染対策をしっかりとしていると思われるのに、何故このように制限されているのか、全く理解できません。

今後の感染状況で再び緊急宣言となることが予想されているが、一体緊急事態宣言とはなんなのか？酒の対策以外なんの策も講じていないではないですか。緊急事態宣言でまた酒の提供が制限されても、これでは感染者は減らないと思いますよ。専門家の方々！

### オリンピックに対する対策

近づく東京オリンピックに対して、感染症対策分科会の尾身茂会長は「無観客開催が望ましい。もし、観客を入れる場合には、徹底して人員を抑えるべきだ」と言っていますが、素人が考えても無観客開催が一番効果的だと考えることです。それをいかに抑えるかの対策を考えるのが専門家の役目ではないのか。

正直言って私は今度の東京オリンピックには思い入れがあります。先の1964年の東京オリンピックでは、当時高校2年でしたが、学校枠で秩父宮ラグビー場にサッカーの試合（メキシコ対イラン）を見に行っており、その時の切符も記念にとってあります。あの時の各競技の様子は鮮明に覚えており、その後の各オリンピックの方があまり記憶していないほどです。そして今回の東京オリンピック。運よく観戦切符が当たり、また見れることを楽しみにしていました。ところが今回のコロナ騒動で開催が危ぶまれ、無観客開催になっても仕方ないと思っていました。しかし、簡単に無観客開催を口にする専門家の意見は実に単純です。

そもそもオリンピックが観客を入れずに開催したら全く盛り上がりません。また東京での公道聖火リレーが取りやめになったそうですが、公道での聖火リレーができないということは、もはやオリンピックが開催されない危機状態ではないかと思うのです。公道は屋外です。どうしたら感染対策をとって屋外での聖火リレーができるかを講じるのが専門家ではないのですか。また、現在野球や競馬場では人数制限しての有観客を認めていますが、この様子をよく見ると広い観客席の一部の席に入れているため、密の状態になっているではありませんか。このことを専門家はなぜ指摘しないのか。オリンピックの有観客もこういうことを指摘した上で、しっかりした対策を講じるのが専門家の役目ではないのだろうか。

**いったい専門家とは何者なのだ！**

## 5. 令和3年6月末をもってCCKを卒業しました。ありがとう！

平成5年7月入会 第1回生

石川 三千雄 (R3.7.1記)

石川はコロナ禍最中の6月末日にCCKを卒業(引退)しました。平成5年7月前身のキャリア・コンサルタント協会に入会して以来、在籍28年になりますがその間平成7年から平成23年までの16年間は会報購読会員として、年に数回CCKに顔を出す程度でした。

親の介護と自分の技術士事務所(下水道専門)の多忙さから出席できないためでした。

(会報 No. 202 平成23年8月10日号参照ください)



6月23日営業会議の朝方石川は渡邊理事長、宮坂武彦氏に挨拶

### Youth

Youth is not a time of life-it is a state of mind . . . . .

Samuel Ullman

青春とは人のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ . . . . .

年を重ねただけでは人は老いない 理想を失う時に初めて老いが来る . . . . .

“アンチエイジング”私の方法：2019年12月25日 宮坂武彦著書より

これからも理想を追い続け健康を維持しながら「100歳時代」を目指します  
よろしく！



# 楽しかったワインパーティを思い出し紹介しておきます

(R3.7.1 石川記)

第12回 ワインティasting 21名出席 平成29年9月21日 17時から20時



平松理事の開会宣言

木理事



CCK 発足 25 年の協力を感謝 榎



みんなこっち向いて



ワインをどうぞ



ワインを楽しむ



影山さん手料理が並ぶ

撮影：2017. 9.21 石川三千雄

## 5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

● 7月7日は小暑であり、七夕でもある。暦の上では小暑から立秋（8月7日）までは「晩夏」であり、暑さが本格的になる季節である。コロナワクチンの接種も過渡期を迎え、陽性者も減少することが期待されています。組合関係者の皆様におかれましては健康に気を付けてこの夏をお過ごし下さい。

● 7月23日（金）には2020東京オリンピックの開会式を迎えます。又8月24日（火）からはパラリンピックが開催される予定です。コロナの影響で、どのような形で競技が行われるのか、心配です。とにかく開催することが決定し、多くの会場が「無観客」で競技が行われるようです。既に入国した外国人選手にもコロナの陽性反応が出ていますので、管理体制も重要になってきます。テレビでの観戦が多くなるが、いわゆる「スポーツ・バー」では飲酒や時間の制限がある中での営業はどの様になるのか、心配だ。

● 5月27日に「第26回通常総会」も終了し、6月の理事会で決定した各種予定表等を今月号の最終ページに付録として2021年（令和3年）度の「重要会議予定表」「役員役割分担表」「主要会議のメンバー表」として掲載しました。参考にして下さい。これらの表は事務局及びマイデスクの掲示板にも張り出しています。

### ● 7月の行事等の予定

- 2日（金）BCセミナー（10：00）
- 3日（土）BCセミナー（10：00）
- 5日（月）BCセミナー（10：00）
- 9日（金）BCセミナー（10：00）
- 12日（月）BCセミナー（10：00）
- 13日（火）運営会議（10：00）
- 14日（水）営担会議（10：30）
- 16日（金）BCセミナー（10：00）
- 17日（土）BCセミナー（10：00）
- 20日（火）理事会（13：00）
- 22日（木）BCセミナーB（10：00）
- 24日（土）BCセミナー（10：00）
- 26日（月）BCセミナー（10：00）
- 28日（水）営業担当者会議（10：00）



● 8月の行事等の予定

- 1日（日）BCセミナー（10：00）
- 2日（月）BCセミナー（10：00）
- 5日（木）BCセミナー（10：00）
- 7日（土）BCセミナー（10：00）
- 8日（日）BCセミナー（10：00）
- 9日（月）BCセミナー（10：00）
- 10日（火）運営会議（10：00）
- 11日（水）～15日（日）夏休み
- 16日（月）BCセミナー（10：00）
- 17日（火）理事会（13：00）
- 19日（木）BCセミナー（10：00）
- 21日（土）BCセミナー（10：00）
- 23日（月）BCセミナー（10：00）
- 25日（水）営担会議（10：30）
- 26日（木）BCセミナー（10：00）
- 28日（土）BCセミナー（10：00）
- 30日（月）BCセミナー（10：00）

一粒万倍

▼7月4日に東京都議会議員の選挙が行われた。その結果自民・公明党による過半数の獲得に失敗し、都民ファーストが意外に票を伸ばした結果になり、秋の衆院議員の選挙に影響が出てきたようだ。小池百合子知事が疲労を理由にした「入院、養生」も最後の1日だけの応援で都民ファーストが伸びたのか、今後の小池知事と二階幹事長の関係がどうなるのか、政治の世界は良く分からない。

▼三菱電機（株）が空調関係等の製品検査で虚偽の検査結果を作成し製品を出荷していた。天下の三菱電機が何たることか。小生がプラスチック製品を製造・加工をしていた当時、三菱電機から注文をもらったことがある。その当時も、納品した部品に対する品質検査は非常に厳しく、技術の三菱電機を標榜するものであった。ただ当時から工場（製作所）毎の独立性が強く、三菱電機全体の検査基準がなく、バラバラだったような気がする。それが出荷検査の偽造につながったのではないのかと思われる。この検査の「不正行為」による社長の辞職だけで済まされる問題ではない。

▼7月3日（土）午前10時30分ごろ熱海市伊豆山で大きな土石流（山津波）が発生した。昨年の熊本県人吉市・球磨村に続いて「線状降水帯」による大雨で、7月1ヶ月の降水量を超える雨量が2日間で降ったためであった。5月導入の新しい避難情報（警戒レベル5段階）は非常に解りづらい官庁用語で、避難が遅れた原因でもあるようだ。因みにその警戒レベルを列挙してみると、①早期注意情報 ②大雨・洪水・高潮注意報 ③高齢者等避難指示 ④避難指示 ⑤緊急安全確保 となっている。読者の皆様はこの5段階のレベルをどこまで理解出来ますか？

▼コロナウイルス感染対策の予算70兆円のうち30兆円が残っている。これは昨年7月に中止になった「ゴーツーイート」「ゴーツートラベル」の予算と言われている。これはコロナ対策より経済対策を優先した結果の失敗である。このことが「コロナワクチン」の手配及び接種の遅れに繋がっている。コロナワクチンの遅れが7月23日から開催される「2020東京オリンピック」にどのような影響を与えるのであろうか。

▼東京都には7月12日（月）から第4回目の「緊急事態宣言」が発せられる。これには各方面から苦情や批判が寄せられているが、若い人たちの振る舞いが人流を活発化させており、宣言も4回目になると「またか？」という思いを、大多数の国民が持っている事だろう。

編集後記：\*今月号はいろいろな方の寄稿により充実した内容になりました。\*コロナワクチンの接種も過渡期を迎え、逆に人流が活発になってきた気がします。100年に一度の感染症の流行に歯止めが、早く掛かれば良いのだが。

## 2021年度(令和3年) 重要会議予定表

2021年(令和3年)6月15日  
キャリア・コンサルタント協同組合 理事会

年 月	営業担当者会議	運営会議	理事会
2021年 6月	2.4水曜 10:30~	8日(火) 10:30~	15日(火) 13:00~
7月	2.4水曜 10:30~	13日(火) 10:30~	20日(火) 13:00~
8月	4水曜 10:30~	10日(火) 10:30~	17日(火) 13:00~
9月	2.4水曜 10:30~	14日(火) 10:30~	21日(火) 13:00~
10月	2.4水曜 10:30~	12日(火) 10:30~	19日(火) 13:00~
11月	2.4水曜 10:30~	9日(火) 10:30~	16日(火) 13:00~
12月	2.4水曜 10:30~	14日(火) 10:30~	21日(火) 13:00~
2022年 1月	2.4水曜 10:30~	11日(火) 10:30~	18日(火) 13:00~
2月	2.4水曜 10:30~	8日(火) 10:30~	15日(火) 13:00~
3月	2.4水曜 10:30~	8日(火) 10:30~	15日(火) 13:00~
4月	2.4水曜 10:30~	12日(火) 10:30~	19日(火) 13:00~
5月	2.4水曜 10:30~	10日(火) 10:30~	17日(火) 13:00~
	第27回通常総会・懇親会 2022年(令和4年)5月27日(金)15:00~		

- ☆夏休み 8月11日(水)~15日(日)
- ☆年末・正月休み 12月29日(水)~1月5日(水)
- ☆2021年度(令和3年)忘年会は12月21日(火)理事会終了後に予定しています。
- ☆2022年度(令和4年)新年賀詞交歓会は1月6日(木)午後1時の予定です。

## 2021年（令和3年）度 役員の役割分担表（敬称略）

### キャリア・コンサルタント協同組合

令和3年6月15日現在

理事長	渡邊 健三	（代表理事、運営全般、外国人材受入事業部長）
副理事長	神力 愛晴	（理事長補佐、技術コンサル責任者、 お役立ち事業部長、東京都中小企業振興公社担当）
副理事長	大野 長壽	（渉外担当、お役立ち事業担当）
常務理事	平松 靖弘	（事務局長、セミナー研修事業部長、）
理事	宮坂 武彦	（外国人材受入事業担当、事務局経理担当）
理事	岡崎 充徳	（営業本部長、日本テレワーク協会担当）
理事	荻野 徹	（営業本部担当、東京商工会議所担当）
理事	福田 秀樹	（営業本部担当、BCセミナー担当）
理事	佐藤 俊彦	（外国人材受入事業担当、関西方面担当）
理事	後藤 聡	（外国人材受入事業担当、岐阜事務所担当）
監事	下斗米裕英	（人事労務関係コンサルティング担当、 外国人材受入事業担当）
監事	中野 忠	（総務担当、官公庁担当、中小企業団体中央会担当）
顧問	榎木 義彦	（営業担当、個人情報管理責任者）
顧問	田中 努	（総務担当、マイデスク事業担当、会報担当）

## 2021年（令和3年）度 主要会議等のメンバー

キャリア・コンサルタント協同組合

令和3年6月15日現在

ゴシックは責任者、\*印は部外者

1. 理事会（原則第3火曜日、13：00開催）  
渡邊、理事・監事全員12名  
顧問（栩木、田中）は必要に応じて出席
2. 運営会議（原則第2火曜日、10：30開催）  
渡邊、神力、大野（長）、平松、宮坂、岡崎  
顧問（栩木、田中）は随時出席
3. 営業担当者会議（原則第2第4水曜日、10：30開催）  
岡崎、神力、大野（長）、平松、福田、荻野、下斗米、栩木、川谷、中山、秋葉
4. 会報編集委員会（毎月10日発行）  
田中、大野（長）、平松、福田、中野、影山、  
（発行責任者は渡邊理事長）
5. お役立ち市場担当  
神力、大野（長）、平松
6. セミナー・研修事業部（原則第1金曜日、14：00開催）  
平松、福田、宮坂、荻野、下斗米、下田、岡崎、\*大島
7. 外国人材受入事業部の担当組合員  
渡邊、宮坂、佐藤（俊）、後藤、下斗米、小倉
8. CCK45  
荻野、岡崎、福田
9. （一社）日本テレワーク協会担当  
岡崎、大野（長）、平松、栩木
10. CCK研修の集い（休会中）

\*上記会議等に参加希望者は責任者に連絡をして下さい。